



ファンファーレとともに分列行進をする

話題 ピックアップ

まちのニュース

皆さんからの情報をお寄せください。

企画財政課広報広聴係(☎・内線1202)

地域守る仕事始め堂々と

市消防出初式に団員ら450人参加

市消防出初式は1月3日、安代総合支所周辺で行われ、消防団員400人、婦人消防協力隊員50人、消防車両40台が参加しました。

打ち付けるような吹雪の中、凜とした面持ちで分列行進。参加者は佐々木孝弘統監の観閲を受けた後、無火災を願う万歳三唱でより一層の精進を誓いました。

工藤民一団長は「自身の健康に留意し、地域防災の要として市民の安全安心のため消防防災の任にあたっていただきたい」と訓示して参加者を鼓舞しました。



佐々木孝弘統監に車両の中から敬礼をする分団員



土屋選手(中央)を囲む両親と五日市コミセン会長ら

期待の星笑顔で送り出す

五日市振興協議会が土屋正恵選手を激励

五日市振興協議会は1月12日、北京冬季五輪クロスカントリースキー競技で活躍が期待される同地区出身の土屋正恵選手に激励金を手渡し、健闘を願いました。

激励金は同会と安代地域の有志から募ったもの。羽澤敦志会長は「五日市の期待の星。けがの無いように力を発揮してほしい」と温かく激励しました。土屋選手は「地元を離れても、応援してもらえて本当にうれしい。喜んでもらえるなら、シーズン終わりに小学校などに足を運びたい」と涙をこらえながら笑顔で話しました。



第74回県民体育大会スキー競技会のジャンプ、コンバインドの両種目を開催(1月15日、矢神飛躍台)



県中学、高等学校スキー大会アルペン種目を開催(1月8日～10日、安比高原スキー場)



ガリウムカップ第33回田山クロスカントリー大会を開催(1月5、6の両日、田山グラウンド)



雑穀の良さを広めたいと意気込む畠山さん(右)

栄養たっぷりの雑穀献上

新嘗祭への精粟献上を報告

新嘗祭献穀伝達式は12月13日、市役所で行われ、天皇陛下に精粟(ゆいこがね)5合を献穀した畠山城司さんが市長に献穀の報告をしました。

宮内庁からの感謝の印として献穀受納書や御紋付磁器盃などを市長が手渡し。畠山さんは「とてもいい出来の粟を献穀することができた。大変光栄で、忘れられない思い出になった」と顔をほころばせました。

畠山さんは自身の畑23㌥で、粟やアマランサス、えごまの有機栽培に力を入れています。



フラッグを目指し懸命に走る寺田小の児童たち

雪に触れ冬を楽しもう

令和3年度寺田地区雪上運動会を初開催

寺田コミュニティセンター(小野寺陽子センター長)は1月7日、地区の活性化と世代間交流を目的とした寺田地区雪上運動会を開きました。

新型コロナウイルス感染症の影響で夏の運動会が中止となったため、代替大会として初開催。子どもから大人まで約200人が参加し、雪上かるたや玉入れなど9種目で競い合いました。

小野寺センター長は「準備に時間はかかったが、皆さんに喜ばれてよかった」と胸をなで下ろしました。

丁寧に牛と向き合い受賞

妥協せず毎日を積み重ね「意欲ある担い手賞」に

3年度いわて農林水産表彰は12月24日、サンセール盛岡で行われ、松尾で酪農を営む藤田貴良・麻奈美夫妻が「意欲ある担い手賞」を受賞しました。

良質な牛乳の生産を目指し、飼養管理や乳質・衛生管理を徹底。市内のジェラート店に生乳を提供するなど、地産地消にも力を入れた経営が評価されました。

貴良さんは「安定した経営はこれまでの努力の結果。全国的に牛乳が余り、厳しい状況は続くものの辛抱強く酪農と向き合っていきたい」と意気込みました。



継続に力を入れつつ、発展を目指したいと語る藤田夫妻

願いを込めてコロコロ

世代間交流事業でミズキ飾り作りを実施

平館こども園と同地区の老人クラブ連合会は1月5日、平館コミュニティセンターで小正月行事のミズキ飾り作りを行い、交流を深めました。

同園年長児17人が、同クラブ会員と一緒に豊作や無病息災を願って、餅に見立てた色とりどりの紙粘土をミズキの枝に飾り付けました。完成したものは平館小や市役所など7カ所に飾られました。

遠藤綾乃ちゃんは「上手にできた。粘土をコロコロするのが楽しかった」と笑みをこぼしました。



ミズキの枝に思い思いの飾りを付ける園児たち



英語でコミュニケーションしながらルール説明をする中学生

英語力向上につなげる

市イングリッシュキャンプ(冬季)を開催

市教育研究所は12月27日、英語への興味・関心を高めることを目的とした市イングリッシュキャンプ(冬季)を市役所多目的ホール棟で開きました。

市内の小中学生27人が参加し、中学生が英語でルール説明を行うゲームを通じて交流を深めた後、小学生と中学生に分かれて活動し、英語に親しみました。

杉本海晟さん(安代中1年)は「小学生に分かりやすくルールを伝えるのに苦労した。英語をもっと上達したい」と意欲を燃やしていました。



受賞の喜びを伝えた日戸さん(右)

たゆまぬ努力で日本一

大人顔負けな歌声で優勝

第9回津軽三味線津軽民謡全国大会少年少女唄部門で優勝した日戸楓乃さん(西根中2年)は12月23日、佐々木孝弘市長に受賞の報告をしました。

5歳から民謡をはじめ、日本郷土民謡協会岩手中央支部に所属。最近は津軽民謡に取り組んでおり、松田隆行氏に指導を仰ぎながら練習に励んでいます。

今後について日戸さんは「内閣総理大臣賞を目指して頑張りたい。民謡以外に三味線にも挑戦していきたい」と決意を語りました。

すなっぷギャラリー



16年にわたる田村正彦氏の赤十字事業への貢献に、金色有功章が日本赤十字社から伝達(1月7日、市役所)



田村正彦氏が市消防団顧問の委嘱状交付を受ける(12月21日、市役所)



無病息災と五穀豊穡願う寒中行事を2年ぶりに開催。八坂神社目指して練り歩く(1月8日、平笠裸参り)



市民の暮らしを守る活動、決意新たに開始(1月9日、市防犯隊・交通指導隊合同初点検)



市建設協同組合(遠藤忠志理事長)がスキー大会実行委員会に大会協賛金20万円を贈呈(1月12日、市役所)